

パンフで紹介しきれなかった

Standard シリーズ「仮説検定の考え方」

「仮説検定」は図解×アニメーションでスムーズに！

文字が多くなりがちな、数学Ⅰの「仮説検定の考え方」には、**図解やアニメーション**をご用意しました。先生の指導や生徒の理解をサポートします。

Point① 導入の具体例は**解説アニメーション**で授業をスムーズに！

まず、導入の具体例に新しいQRコンテンツ「解説アニメーション」をご用意しました。数式が少なく文字が多くなりがちだったり、板書がたいへんだったりする解説部分は、このアニメーションにお任せください。

コイン投げ：表が出る 裏が出る

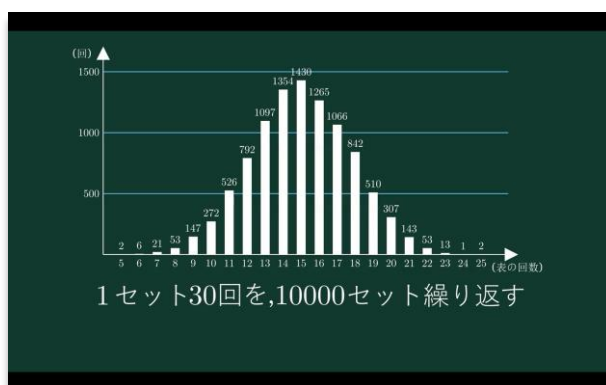
↓ ↓

仮説 H_0 : 「Aを好む」と「Bを好む」人は半々である

H_0 のもとで、

30人中22人以上が「Aを好む」と回答する確率を調べる。

◀ 仮説を**コイン投げ**に置き換える過程をわかりやすく示しています。



◀ **ヒストグラム**も板書の必要がありません。

実際のアニメーションは
こちらからご覧いただけます。

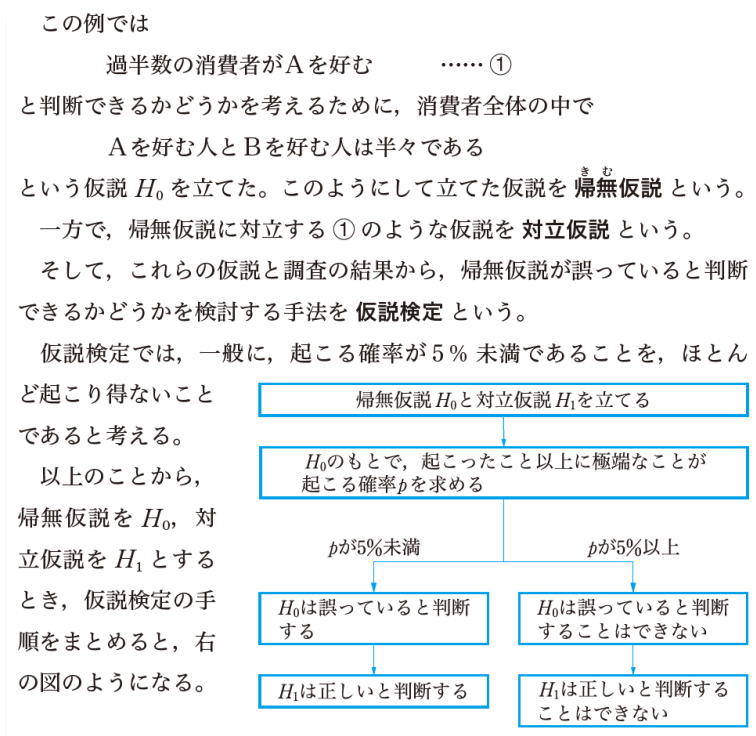


音声解説とともにアニメーションが動き、仮説検定の仕組みがわかりやすくなります。もちろん音声はミュートにして、先生のご説明の補助としてもご利用いただけます。

Point② 仮説検定の流れがわかるフローチャートを追加！

教科書紙面には、具体例の解説のあとのまとめとして、仮説検定の流れがわかるフローチャートを追加しました。

文字が多くなりがちな内容ですが、**視覚的に流れを捉える**ことができます。



数学 I Standard
191 ページ

Point③ 例・問を設け、演習しやすく！

ポイント②のフローチャートの次のページには、例・問を設けました。演習しやすく、仮説検定の考え方を確実に**定着**できます。

例 1 AさんとBさんは将棋で30回対戦し、そのうち19回はAさんが勝った。このとき

AさんはBさんより将棋が強いと判断してよいだろうか。

問 1 ある人が、紅茶にミルクを注いだミルクティーとミルクに紅茶を注いだミルクティーの、味の違いが分かると主張した。そこで、どちらを先に注いだか分からないようにしたミルクティー30杯について、どちらが先か当ててもらおうと、そのうち21杯で正しい回答をした。この結果から、味の違いが分かるとい主張は正しいと判断できるだろうか。190ページのコイン投げの実験の結果を利用して考察せよ。

数学 I Standard
192 ページ



本社
支社・出張所

〒114-8524 東京都北区堀船 2-17-1 Tel: 03-5390-7320 (高校教育部)
札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467 金沢 076-222-7581 名古屋 052-950-2260
大阪 06-4967-1356 広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770 那覇 098-834-8084

この資料は、一般社団法人教科書協会の定める「教科書発行者行動規範」に則っております。

内容解説資料